

事業紹介「2019年度 展示会出展支援事業活動報告」

日本台湾交流協会東京本部
貿易経済部上席副長 角田径子

日本台湾交流協会では、新たに台湾企業とのビジネスアライアンスを図ろうとする日本企業を支援するため、毎年、台湾で開催される国際見本市にブースを設営し、展示スペースを無償で提供しています。(注1)

見本市の開催期間中には、台湾企業との一対一の商談会も開催し、より多くのビジネス創出機会を参加日本企業に提供しています。

2019年度は、工業自動化分野の製品・技術を有する企業支援を目的として、「台北国際オートメーション化展」(2019Taipei Automation・台北国際自動化工業大展、8月21日～24日於：台北)にブースを出展しました。公募で選ばれた日本企業8社の出展支援のほか、8月22日午前には「日本の最新FA・ロボット化事情セミナー及び日台企業交流会」、同日午後には日台企業間の商談会を開催しましたので、事業実施結果を簡単にご報告いたします。

展示会

「台北国際オートメーション化展」は、30年の開催実績を有し、2018年は出展約700社、約2,400ブース、参観者数のべ約13万人という台湾有数の大型工業展で日本の大手メーカーも数多く出展する、台湾域内における注目度の非常に高い展示会です。

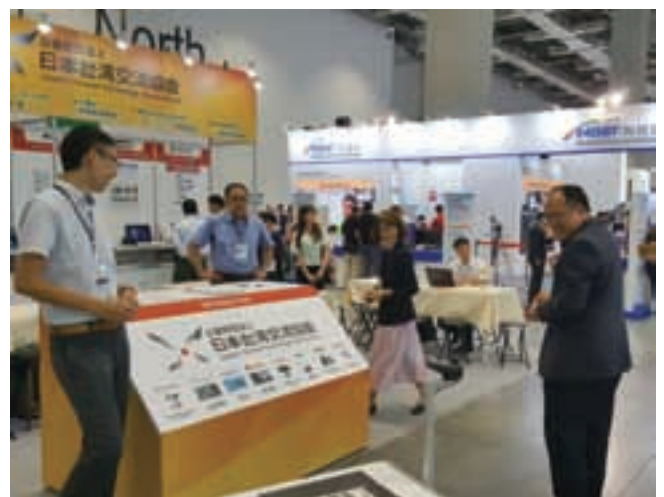
当然多くの商談チャンスが期待されますが、大きな展示会である程、来場者の目に触れるチャンスの多い好位置にブースを確保できるか否かが理想のビジネス相手を見つけられるかどうかにか

く影響します。今回当協会(注2)は、メインストリート沿いの人通りの多い好位置に6コマ分(54㎡)のブースを確保することができ、その結果、多くの来場者の訪問を受けました。ブースには、台湾経済部工業局の呂正華局長も立ち寄られ、熱心に出展企業の製品を視察されました。また、展示会主催団体が実施する新製品発表会に発表する機会を得て、3社が自社製品のPRを行いました。

4日間ブース内で行った商談は合計124件とな



ブース風景



呂正華經濟部工業局長(右)
ブース往訪



日本台湾交流協会ブースに対して新製品発表会の発表枠が提供され、3社が発表。

り、うち商談継続が75件、成約が1件（注3）となりました。

成約第一号は、和歌山大学発ベンチャーで、高速・高精度の振動分布計やサンプリングモアレカメラの開発を行っている株式会社4Dセンサーです。今回、台湾企業と共同で製品開発をするためのNDA契約の締結に至りました。

セミナー・企業交流会

8月22日午前には、日本におけるFA化、ロボット関連の制度や政策を紹介し、展示会との相乗効果を図るべく、台日産業合作推進辦公室

(TJPO) との共催(注2)による「日本の最新FA・ロボット化事情セミナー及び日台企業交流会」を開催しました。

当日は、經濟部工業局電子資訊組の鄒宗勳科長より来賓挨拶をいただき、日本から経済産業省製造産業局産業機械課ロボット政策室の濱名係長、2018年に設立されたシステムインテグレーター(SIer)初の業界団体であるFA・ロボットシステムインテグレータ協会の久保田会長を講師に、日本の最新ロボット政策や製造業の現状とSIerの取り組みをご紹介いただきました。台湾からは台湾智慧自動化與機器人協会(TAIROA)宋開泰常務監事による台湾のロボット人材育成状況の紹介や、日立ハイテクノロジーズとMOUを締結したばかりの華創聚智智能科技股份有限公司の顔均泰資深顧問に、日台企業連携の事例紹介を行っていただきました。

参加者は約70名。アンケートによる満足度全体評価は100%で、日本人講師2名に対して聴衆からの活発な質問が寄せられ、日本のロボットや自動化の制度や政策に関する台湾での関心の高さが伺われました。

さらに、第二部では、展示会に出展した企業のうち5社による技術・商品プレゼンと台湾企業との交流会を開催しました。



濱名講師



久保田講師



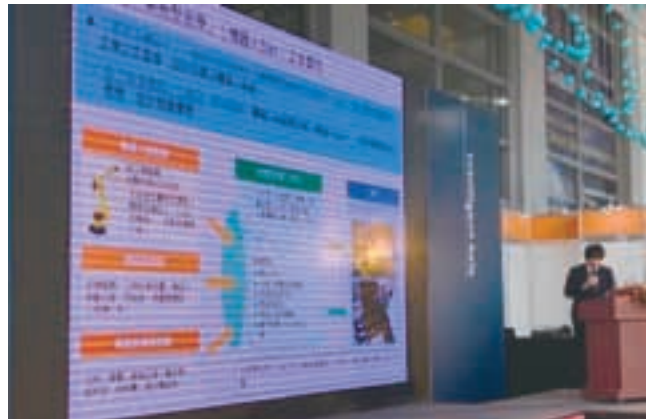
宋講師



顔講師



鄒宗勳
經濟部工業局科長挨拶



講演ステージ



聴衆

商談会

8月22日(木)午後、經濟部国際貿易局、台日商務交流協進会及び大田区産業振興協会との共催(注2)により、日台企業商談会を開催しました。

冒頭に、鄭世松・台日商務交流協進会最高顧問及び星野光明・当協会台北事務所副代表より主催者挨拶を行った後、李冠志・經濟部国際貿易局副局长による「新南向政策による産業リンク成果」と題するご講演があり、その後、1コマ30分の商談会を行いました。

結果、当協会の事業で参加した日本企業8社は、台湾側21社・1団体と商談を行い、商談件数46件、そのうち継続案件22件(注3)となりました。

中には商談の希望が多すぎて時間内に対応しきれず、翌日の展示会ブースでも商談を行った企業や、早速、本格的商談のために台湾企業への訪問を行う企業等があり、今後の展開が大いに期待されているところです。

昨年度までの本事業に参加した企業の中には、「これを契機に台湾とのビジネスが活性化した。」「台湾企業との連携による発展可能性に気づき、台湾支店を開設した。」「第三国展開をした。」といったところも出てきています。



来賓・主催者代表
(左) 李冠志・經濟部国際貿易局副局长
(中央) 鄭世松・台日商務交流協進会最高顧問
(右) 星野光明・当協会台北事務所副代表



商談風景

当協会としても、引き続き日台企業間の連携促進、ウィンウィンのビジネス発展支援の一助となるべく尽力して参ります。

「日台ビジネスステーション」でもご紹介しております。是非ご覧ください。

<https://www.jptwbiz-j.jp/>

参加企業紹介

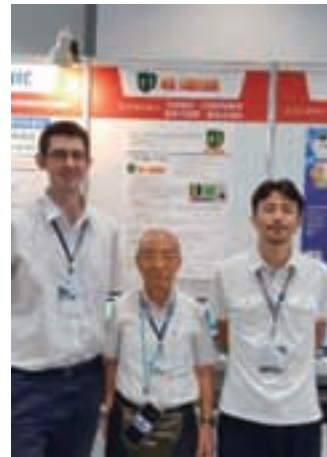
以下の8社のPR情報は、日本台湾交流協会が日中両方の言語にて運営しているWEBサイト



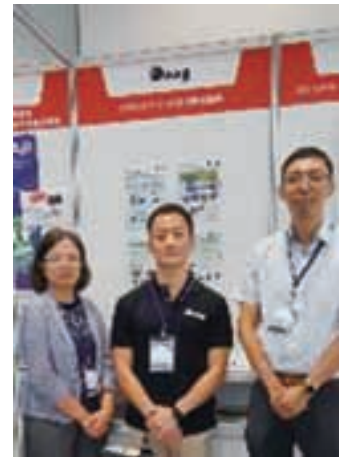
(株)富士精密
ベアリング用の弛み止めナット



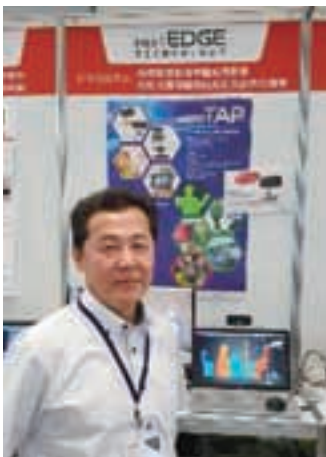
(株)フレックラム
組立治具システム・新金型技術



4Dセンサー(株)
OPPA 振動分布計・
サンプリングモアレカメラ



(株)Doog
追従型運搬用ロボット



(株)ネクステッジテクノロジー
モビリティロボット
ADAS用3Dカメラ



(株)セコニック
振動式粘度計



(株)ラインワークス
溶接ロボット支援システム



マイナースジャパン(株)
コネクタ組立用自動機

(注1) 個別でレンタルを希望される物品等は自社負担となります。

(注2) 共催団体には、他に日台ビジネス交流推進委員会も含まれております。また、以下の団体からも各種ご協力を賜りました。

経済部工業局、中小企業基盤整備機構、日本ロボット工業会、FA・ロボットシステムインテグレータ協会、台湾智慧自動化與機器人協会、台湾物聯網産業技術協会、台湾電子設備協会

(注3) 事業終了時点の調査結果です。

本件事業に関する問合せ先
公益財団法人日本台湾交流協会 貿易經濟部
電話 03-5573-2600 (代)